

健康づくり推進協議会の報告について

第15回京都支部健康づくり推進協議会

《平成29年度実施方針に対して協議会委員のご意見》

【事業者健診データの取得】

・事業者健診データの作成方法が複雑で、医療機関であっても簡単にデータが作成できない。データ作成方法についてもう少し簡略化が必要ではないか。

☞システム改修等、本部に要望し、できる限りデータ作成が簡易にできるように努めます。

【被保険者の受診率向上】

・女性の乳がん、子宮頸がん検診については、昨今特に注目されている。

乳がん、子宮頸がん検診を同時に受診できることをもっとアピールしたほうが良いのではないか。

☞興味を引く健診内容を前面に押し出し、加入者の皆様に受診いただけるよう努めます。

【被扶養者の受診率向上】

・土曜、日曜の商業施設等での集団健診の効果はあるか。

☞今年度実施しているイオンモールでの集団健診は、1日100名以上受診しており効果が高いため、来年度も拡大に向けて健診機関と調整します。

・駅周辺の事業所等と連携するなど、利便性の良い健診会場の確保が必要である。

☞GIS(ジオグラフィック・インフォメーション・システム)を活用し、未受診者に対し利便性の良い健診会場の確保に向けて努めます。

(参考)

保健事業の実施について(イメージ)

